

## 文化財の生物劣化を防ぐための菌類科学の挑戦

国宝の高松塚古墳壁画やキトラ古墳壁画では、発掘調査とともにかび汚染が発生し、その後の壁画保存のあり方にまで大きな影響を与えることとなった。当時、かび汚染を食い止めるために種々の取り組みがなされ一定の成果をあげたものの、壁画をそのまま保存することは困難と判断され、現在、石室解体による抜本的な壁画や石材の修復作業が進められている。

本シンポジウムでは、これら古墳壁画を含む文化財のかび汚染についての歴史的経緯や現状の問題点について菌学的な観点を中心に考察し、将来、菌類学の基礎ならびに応用科学的な立場からはどのような取り組みが望まれるのか闊達な討論を行いたい。

日時: 2010年11月27日(土曜), AM10:20 ~ PM4:00

会場: 東京医科歯科大学 御茶ノ水キャンパス 歯学部歯科棟4F特別講堂

会費: 両学会会員ならび後援学会会員 500円, 非会員 2,000円 (ただし学生は1,000円)

後援: 文化財保存修復学会

9:45 シンポジウム受付開始

10:20 開会の挨拶(日本防菌防黴学会会長, 畑井喜司雄)

10:25 趣旨説明(シンポジウム実行委員)

10:30 文化財のカビ汚染 - 現在, 何が問題となっているのか  
: 木川 りか(東京文化財研究所)

11:05 高松塚古墳壁画やキトラ古墳壁画に危害をもたらすカビとは?  
: 杉山 純多(株)テクノスルガ・ラボ 千葉分室

12:00 休憩(昼食)

13:00 石造文化財の微生物被害-アンコール遺跡(カンボジア)の場合  
: 片山 葉子(東京農工大学大学院農学研究院)

13:55 文化財保存管理の現状と制御技術  
: 久米田 裕子(大阪府立公衆衛生研究所感染症部)

14:30 カビ汚染問題に対して学術団体のなすべき役割 - 人・組織の協力体制のあり方  
: 毛利 和雄(日本放送協会 解説委員)

15:05 休憩

15:15 討論会(司会進行役, 佐久間大輔: 大阪市立自然史博物館)

15:45 閉会の挨拶(日本菌学会会長, 高松 進)

16:15 懇親会(歯学部一号館, 9階セインツ, 参加費3,000円) ~ 18:00閉会



・会場までのアクセスについては、東京医科歯科大学の下記URLをご参照ください。最寄り駅は、JR中央線・総武線の御茶ノ水駅です。  
[http://www.tmd.ac.jp/contents2006/map\\_j.html](http://www.tmd.ac.jp/contents2006/map_j.html)

・要旨集準備の都合のため、できるだけ事前にお申し込み下さい。

・当日、学会の広報活動の一環として、いくつかポスター展示を行います

・関連団体等のPRポスター展示も受け付けておりますので、展示をご希望の場合には11月12日までにお申し込み下さい。

申込先

信州大学農学部応用生命科学科  
山田 明義 宛

E-mail: akiyosh@shinshu-u.ac.jp

FAX: 0265-77-1629